

令和8年1月19日

コミュニティ・スクール便り

板橋区立緑小学校 コミュニティ・スクール委員長 山口 正春
校長 市之瀬 輝明



日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

1月13日(火)に、第4回コミュニティ・スクール委員会を行いました。今回は学校や地域の様子、活動について話し合いました。

また、統括コーディネーター 白鳥 円啓 様、宮澤 美樹 様、地域教育力推進課 地域連携係 知久 瑠璃子 様 にもお越しいただきました。



○学校より

- ・ユネスコスクールとしての取組、キャリア教育の報告

○主な意見

【キャリア教育】

- ・6年生が思いをもって、工夫しながら真剣に取り組んでいてすばらしい。
- ・自分たちで企画したグッズ販売もみんなで協力して取り組み、見事、完売させることができた。
- ・6年生が下級生に対して真剣にプレゼンしたので、下級生もグッズに対して思いがあり、購入意欲が高まっていた。グッズ販売・購入を通して、「いつか自分もやってみたい」、「6年生みたいになりたい」とあこがれをもつこともできた。
- ・販売利益で実がなる樹木を購入して植樹した。みんなにとってうれしいこと、10年後にも楽しみがあること等、植樹の意味も6年生は考えられていて素敵で、この取組のストーリーに感動した。

【海外の小学校とのオンライン交流】

- ・6年生は韓国、5年生はオーストラリアの学校とオンラインで交流した。6年生は4年生の時も韓国の学校と交流したので、韓国語も上達した。また、交流を複数行うことで、オンラインでの交流自体に慣れてきて、習熟してきた。

共通話題のゲームやアイドル等でも盛り上がり、会話を楽しむ姿が見られた。

【その他】

- ・ビオトープの道具入れ小屋を修理する(2~3月)
- ・竹の利用で竹炭づくりを計画している。
- ・寺子屋 茶道教室を予定している。作業部屋の整備、看板作成を進めていきたい。

○熟議【防災】

- ・学校と地域が一緒に防災訓練をできないか。
 - ・日程や訓練内容、対象学年等、今後、調整や工夫が必要。
 - ・一緒に取り組むことに価値がある。
 - ・本当の災害の時に役立つようにする。引取りの流れについて、地域としても再度確認したい。
 - ・子どもに必要な訓練を見極めてほしい。
 - ・避難所生活では、小学生でも、小学生だからできることがある。そのようなことも視野に入れてみてはどうか。
 - ・あいキッズ職員も一緒に参加させてほしい。

○参観者の方より

- ・iCS 委員会の雰囲気がよく、それぞれの立場で意見が出ていて素晴らしい。
- ・学校に「楽しい」があふれている。教員、地域の努力が感じられる。
- ・iCS、地域が学校・子どもたちの様子をよく見ている。だからこそ課題も見えている。そして課題解決している。
- ・地域で地域の子どもを育てているのが伝わってくる。



※ 次回は 2月3日(火)
15:00~を予定しています。